

安心して住みつづけられるまちづくりをめざして

友の会だより

2023年3月10日 第126号

発行 江戸川健康友の会
134-0085 江戸川区南葛西2-12-1
電話：5679-7130 FAX・5679-7131
メール：edogawa_kenkou_tomonokai@nankatu.or.jp
郵便振替口座番号：00170-8-393711

新春
歩こう会

平安く江戸時代のお寺めぐり

東葛西の地域の歴史と文化知る

2023年の「友の会新春歩こう会」は東葛西地域のお寺や寺院めぐりとして1月14日、約60名が参加して行われました。この地域は、平安から江戸時代にかけて創建された区指定の有形・無形文化財が多くありました。また雷公園内にある緑の桜の木（御衣黄）や新川梨の名産地であったこと、大相撲の関取（浜風関）がいたこと、そして映画「ドレイ工場」や「どぶ川学級」の地元であったことなどを知ることができました。



中葛西在住の遊佐照雄さんが資料を入念に準備し説明、資料を見ながら説明を聞く参加者のみなさん（梵音寺にて）

「新春歩こう会」に東葛西方面とあったので、絶対参加しようと思ったので、いきました。それは私にとって思い出の場所だったからです。65年前、大学を卒業して初めて教師として勤務したのが第2葛西小学校だったのです。

当時、私は江東区白河に住んでいたもので、バスに乗って砂町から荒川を渡って通いました。今の葛西橋でしょうか。いつ流れてしまうかわからないような橋で、橋板から川の水が見えました。仲割というバス停で降りて、見渡す限りの田んぼの中の二葛西小に向かいました。私も若かったですし、楽しい教員生活でした。バス通りのすぐ南側は海で、のり干場が並んでいました。保護者がのりをはがして何枚かくださったのを思い出します。

その懐かしい二葛西小の近辺が見学できると思っただけで参加したのです。私にとっても神社やお寺は昔のままにあって、遊佐先生の案内を懐かしく聴き見学できたのは嬉しいことでした。雷香取神社の鳥居や昇覚寺の鐘楼など昔のままに懐かしかったです。都の無形文化財である「おしゃやく」のお話も勉強になりました。昔の葛西をほうふつとさせる、深みのある企画をありがとうございました。

（本一色 安部淑江）

4ページで発行しています



途中小雨が降るなか、近年にない60人が参加

が、当時なかった道を案内していただいても覚えがありません。同時期に葛西中学にいたKさんは、このお寺の住職は英語の先生、ここの住職は国語、こちらの住職は社会科、そして家庭訪問したのはこの辺だ、などと話していました。

大軍拡・大増税反対 みんなで声をあげよう 2.26江戸川集会に参加



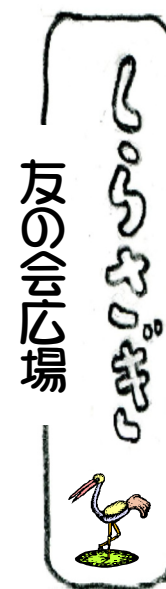
要求を掲げたゼッケンが陽にはえて

戦争に向う岸田政権に反対し、平和を願う集会在、2月26日に船堀スポーツ公園でひらかれ、約200人が参加しました。

ロシアによるウクライナ侵略から一年が過ぎ、一日も早い戦争の終結を求めて「大軍拡・増税はゴメン」「年金上げてくらしを守れ」と寒風を受けながら船堀駅を通って近くの公園までパレードしました。

来賓あいさつで、菱山南帆子さん（許すな憲法改悪・市民連絡会）は、ロシアのウクライナ侵略で両国で31万人が亡くなった。日本は大軍拡と増税に舵を切って戦争への道に進んでおり、ふざけるなど言いたい。いまだ切なのは、今日の集会のように地域から声をあげていく運動が求められている。4月の地方選で岸田の大軍拡と大増税をはね返そうと訴えました。

この集会には、健康友の会も実行委員会の呼びかけに添えて「戦争すすめる軍拡やめろ」「対話の力で平和な世界に」「くらしを壊す増税やめろ」「医療・介護の充実を」などのゼッケンを胸に、30人近くの会員が参加しました。（黒木）



俳句・川柳など作品の寄稿は毎月20日までにFAXなどでお届けいただければ幸いです。友の会だより編集部

▼俳句

三郷市 石塚 ふさ子

コロナ禍避けて月夜の初詣
早夜明け離れがたしやぬくい床
満開の椿の朝や雪化粧

▼川柳

江戸川 小林 功

バイデンに肩を抱かれてヘラヘラと
賀状来ぬ友への電話こわごと
同窓のマドンナも同じ閑節痛
おじいちゃんもらったチョコに手を合わせ

▼短歌

近頃は優先座席に座りても違和感のなく浅く眠れり

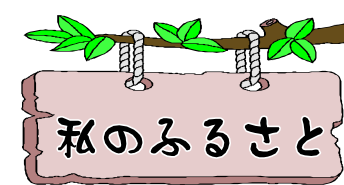
アスファルトを削る深夜の工事場に詠りなつかし掛け声を聞く
戦場にさせてはならぬ思いもち沖繩に通い身を焦がす友

中央 二瓶 誠一



雪月花まあ一杯があればこそ
豆逃げる鬼の背中が俺に見え
卒業式泣きっぱなしのお母さん

▼読者の声
1月号の伊藤信子さんのエッセイ「お正月のごちそう」はとて興味深く読みました。知らないことばかりで勉強になりました。伊藤さんの予ども時代の一面を知って嬉しかったです。（堀孝子）



私のふるさと 木更津市 西葛西 飯島幸子

今の子供たちには想像もできない授業でした。春は小川でメダカの観察をし、各自で発表しました。通学した小学校は千葉県では理科の授業が盛んで大勢の教師がずらりと公開授業を見学

小高い山と海が広がる 自然豊かな地

私の生まれた地は千葉県木更津市長須賀です。父の実家があり疎開し戦後私が生まれました。現在はアウトレットなどがあり様変わりしていますが、私が育つた時代は小高い山と川、そして海が広がり自然豊かな地でした。夏は川で岩に上ったり水を掛け合ったり

今の子供たちには想像もできない授業でした。春は小川でメダカの観察をし、各自で発表しました。通学した小学校は千葉県では理科の授業が盛んで大勢の教師がずらりと公開授業を見学

鳥の飼育部屋、四季の花々あり、校庭の横の小高い丘にある神社には休み時間に駆け上がり、息抜きしたものです。

木更津海岸は浅瀬で天然の貝がとれ味噌汁に、魚は父が釣りクロダイをを庭で焼いた香が漂いました。また、花火も豪華でした。新しい浴衣と下駄を履き、海岸まで見にいき仕掛け花火をみてはドキドキし、打ち上げ花火のうつくしさに感動しました。懐かしい幼いころのアルバムです。

23年度の予算案が衆院を通過した。「異次元の大軍拡」、岸田首相のいう子育て支援予算など、国民へのまともな説明もなく納得できるものではない▼賃上げや、物価高への対応策などもっと真剣に考えてほしいと思う▼3月は、3・1ビキニデー、10日東京大空襲、11日は、東日本大震災・原発事故から12年。ロシアのウクライナ侵略が続く中で、戦争・原発・核兵器の問題等、真剣に考えた。納得できないことに、反対の声を上げ続けた（伊藤）

エッセイ

ゆきゑ先生は永遠に

中葛西 福本多希子

昭和二十九年四月、江戸川区立葛西小学校一年生となった私は、学級担任吉田ゆきゑ先生とめぐり合った。先生は若く美しく、特に卒業式の紫色の凛々しい袴姿に私は憧れを感じた。「私はお母さんの次にゆきゑ先生が好きなの」と告白した。後年、先生は「教師になつて本当に良かった」と私におっしゃって下さった。

ゆきゑ先生は昭和三年三重県津市のお生まれ。お父様は戦災孤児の養育施設を運営し、お母様は養母兼教師として働いていた。先生は教育一家の家庭に育ち、師範学校を卒業された。縁あって東葛西の清光寺（吉田俊雄先生）に嫁がれた。先生は妻、二人の娘の母、嫁、女教師、住職の妻等多くの役割を立派に果たされた。

現代では多方面に活躍する女性には珍しくないが、昭和二十、三十年代の日本・葛西では、女性を家

の中に押し込める風習が色濃く残っていた。ゆきゑ先生の多岐にわたる多才な活躍は、半封建制・家長制に挑むものであった。ある日の先生のエピソードを紹介したい。葛西の旧家S家を家庭訪問した時、父親（家長）と祖母が応対して、半ば自慢げに自分たちの教育観を述べ立てた。なぜか母親を先生に合わせなかった。先生は「私はお母さんと話がしたい」と言つて二人の制止を振り切って座敷に上がり込み、襖の陰で小さくなっていた母親の手を取って座敷の中央に引き出した。聞くと母親は自分の教育方針を滔々と語り始めた。ゆきゑ先生の古きものの打破は実行行動を伴っていたのだ。

私の卒業後も先生との交流は続いたが、ゆきゑ先生は令和二年六月二十九日老衰のためこの世を旅立たれた。九十一歳だった。ご自分をとりまくご家族・親族一人ひとりに「ありがとう」と言つた見事な最期だった。これからも天上から私たち教え子を見守つてくださう。

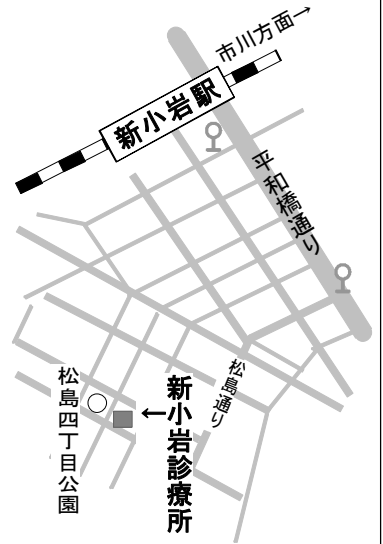
編集後記

23年度の予算案が衆院を通過した。「異次元の大軍拡」、岸田首相のいう子育て支援予算など、国民へのまともな説明もなく納得できるものではない▼賃上げや、物価高への対応策などもっと真剣に考えてほしいと思う▼3月は、3・1ビキニデー、10日東京大空襲、11日は、東日本大震災・原発事故から12年。ロシアのウクライナ侵略が続く中で、戦争・原発・核兵器の問題等、真剣に考えた。納得できないことに、反対の声を上げ続けた（伊藤）

新小岩診療所・診療案内

江戸川区松島4-27-2 電話03-3651-2944

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:45~ 11:30	田村所長 (内科)	田村所長 (内科)	佐藤武文 (内科・ 神経内科)	田村所長 (健康診断)	田村所長 (内科) 恩田圭司 (整形外科)	吉川俊治 第1.3(内科) 江花有亮 第2.4.5(内科)
午後 14:00~ 16:00	田村所長 (内科)	外来休診 田村所長 (訪問診療)	青山麻織 糖尿病・予約制 佐野裕之 (訪問診療)	田村所長 (内科) 訪問診療 根岸美帆	外来休診 田村所長 (訪問診療)	休診
夜間 17:30~ 19:30	休診	田村所長 (内科)	大倉哲朗 (内科外科)	休診	田村所長 (内科)	休診

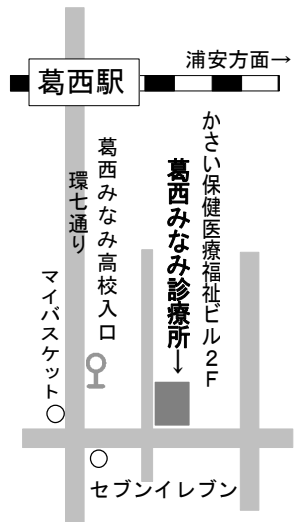


※午前の受付時間は水・土のみ 9:00~12:30です

葛西みなみ診療所・診療案内

江戸川区南葛西2-12-1 かさい保健医療福祉ビル2F 電話03-5679-7144

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時30分	松村所長	石田香苗	松村所長	石田香苗 注② 診療受付 10:00~ 12:30	古寺紘人	第1.3.5 森田 第2.4 工藤恵子
午後 14時~16時30分	注① 予約外来 松村所長	注① 予約外来 松村所長	休診 (訪問診療)	注① 予約外来 松村所長	古寺紘人	休診
夜間 18時~19時30分	休診	松村所長	休診	松村所長	休診	休診



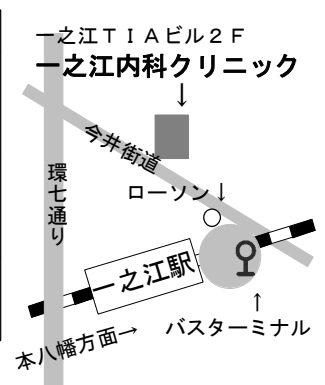
注① 月・火・木の午後は予約外来となっていますが、ご予約のない方も受診いただけます。(予約優先)

注② 木曜日9:00~10:00は健康診断専用時間です。
内科受診の希望者は10:00~12:30の間にお越しください。

一之江内科クリニック・診療案内

江戸川区一之江3-2-35 一之江TIAビル2F 電話03-3656-6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時	高野所長	高野所長	高野所長	高野所長	松村浩生	杉本英樹
午後 14時~17時	高野所長	高野所長	外来休診 訪問診療	高野所長	外来休診 訪問診療	休診
夜間 17時~18時30分	休診	高野所長	休診	高野所長	休診	休診



※休診日は日曜・祭日・年末年始